

令和3年 3月 8日

荒尾市長 浅田 敏彦 様

荒尾市民病院あり方検討会
会長 小野 友道



荒尾市民病院第二期中期経営計画の実施状況に関する
点検・評価報告書の提出について

荒尾市民病院あり方検討会において、荒尾市民病院第二期中期経営計画の令和元年度の実施状況を点検・評価した結果、別紙のとおり、報告書を取りまとめましたので、ここに提出いたします。

なお、令和元年度の本計画の実施状況については、第一期の計画期間から引き続き黒字となっておりますが、本計画の推進にあたっては、下記の事項に留意され、その実現に努められるよう切に希望します。

記

1. 経営の改善体制が醸成されている状況ではあるが、新病院整備に伴い、減価償却費の増加や患者増に対応するための人件費の増加が見込まれ、また、新型コロナウイルス感染症の未だ収束の兆しが見えない中で、今後、収支の上では厳しくなることが想定される。医師確保や人材の育成等、将来を見据えた投資を行う一方で、新病院開院後も引き続き、中期経営計画に基づいた戦略的かつ具体的な取り組みを推進し、健全な経営に努めること。
2. 地域救命救急センターの指定を目指す上では、関連する業務の実績を引き続き積み重ねながら、救急医療の拠点機能を高めることが重要であること。また、地域医療構想を踏まえ、荒尾市民病院に求められている急性期の役割を今後も果たしていけるよう、退院支援機能の充実を図りながら体制の強化に努めること。
3. 新型コロナウイルス感染症の世界的流行の中において、地域住民の生命と暮らしを守る拠点病院として、市民病院で働く医師、スタッフが使命感とやりがいを持って医療を提供できる体制の構築に努めること。
4. 点検・評価の過程で提起された多くの意見については、計画・実施段階における検討材料として十分参考にされたいこと。

【添付資料】

1. 荒尾市民病院第二期中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書（1部）
2. 荒尾市民病院第二期中期経営計画の実施状況に関する点検・評価資料（1部）